

荒川水系 国管理河川の浸水想定図

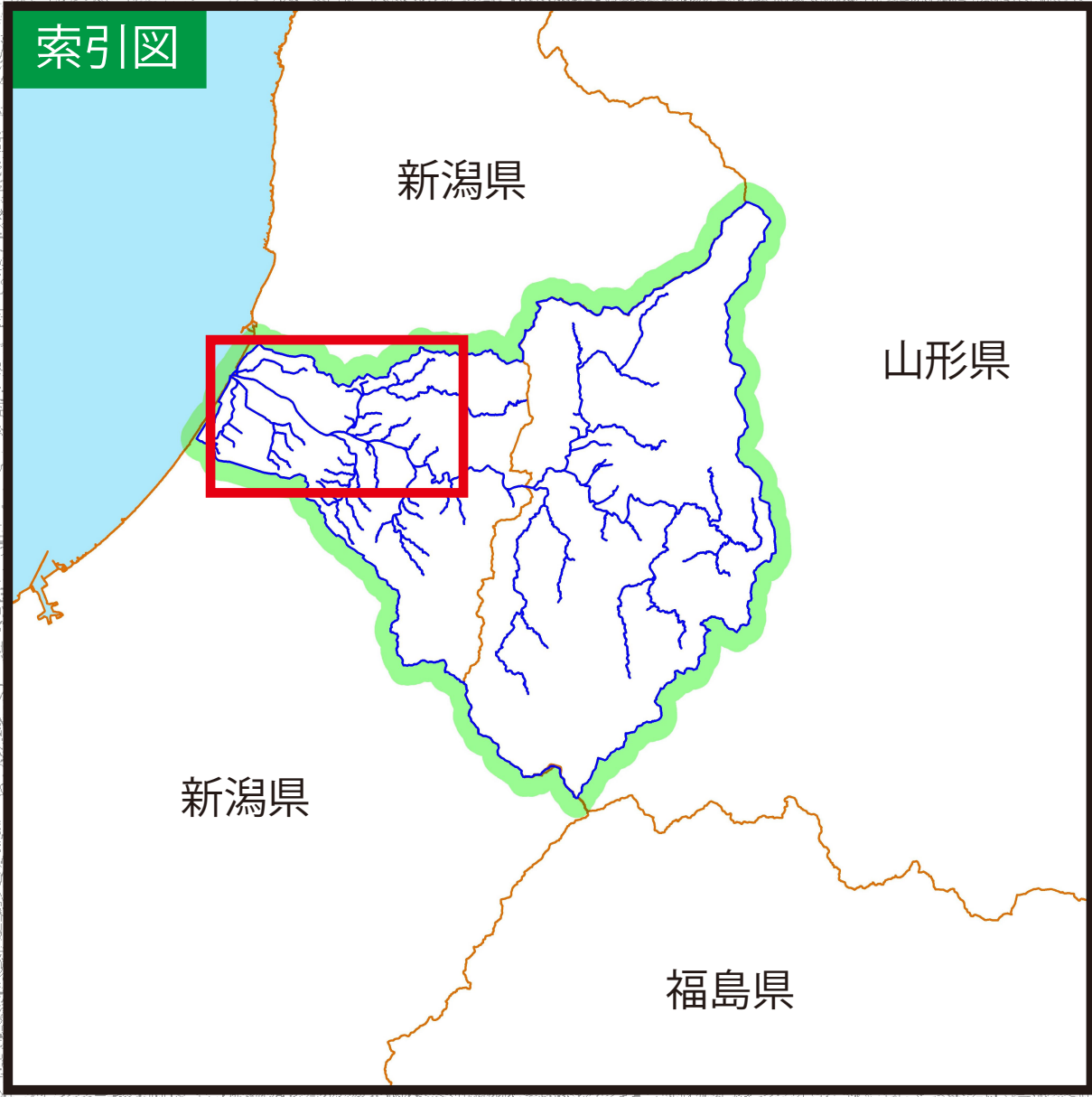
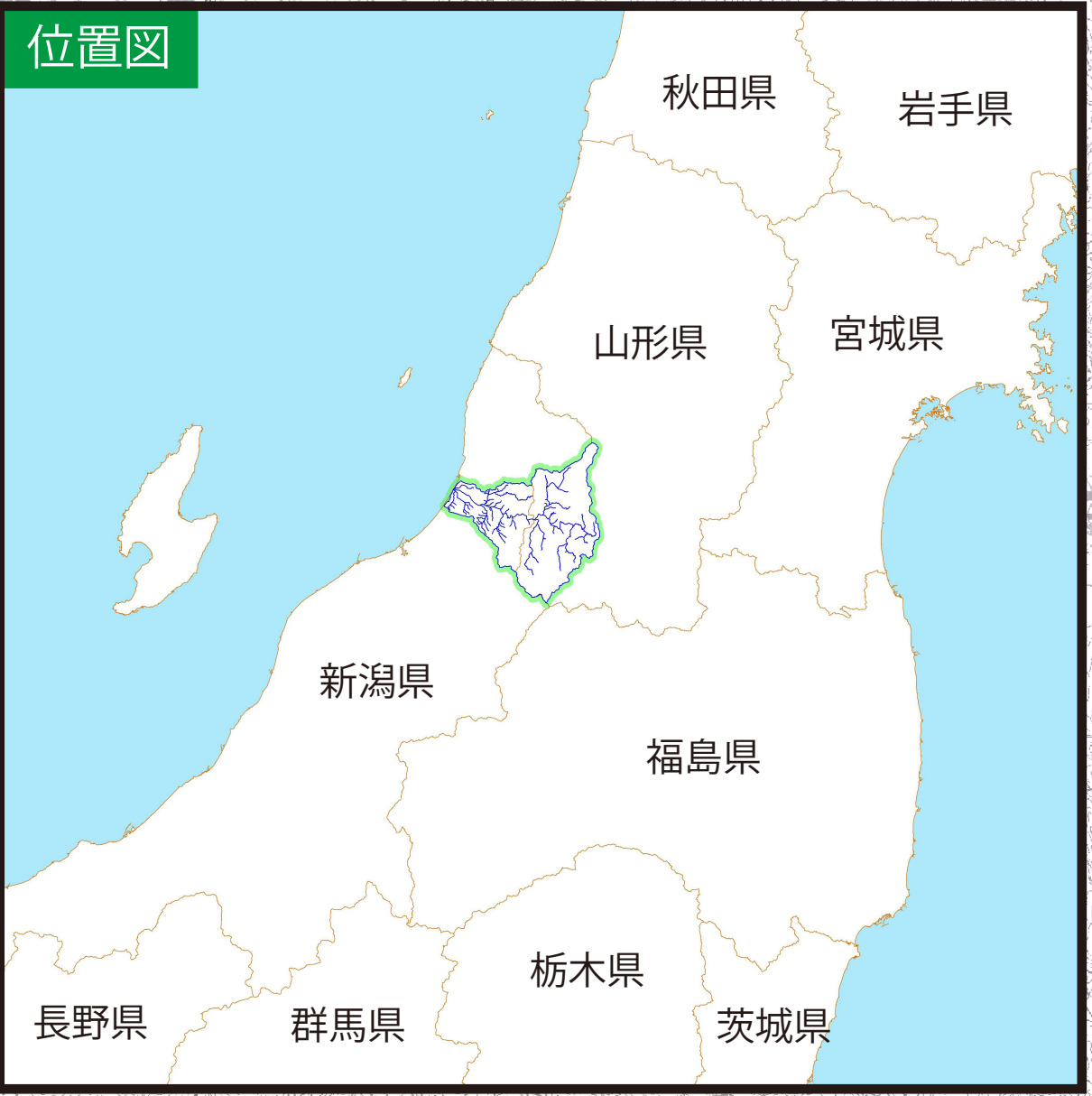
1 / 1 0 規模降雨【現況河道】

凡 例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m 未満の区域
- 0.5 ～ 3.0m 未満の区域
- 3.0 ～ 5.0m 未満の区域
- 5.0 ～ 10.0m 未満の区域
- 市町村界
- 主要道路
- 鉄道
- 河川等範囲

浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川



1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率 1 / 10（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1 / 10（10%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

(2) この浸水想定図は、[現況] の荒川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1 / 10（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1 / 10（10%））の降雨に伴う洪水により荒川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（S42 年 8 月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和 4 年 12 月 14 日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省北陸地方整備局
・羽越河川国道事務所：荒川水系荒川

(3) 実施区間
【羽越河川国道事務所】
・荒川
左岸：新潟県岩船郡関川村大字下川口 5 5 7 番の 1 地先から海まで
右岸：新潟県岩船郡関川村大字湯沢字湯沢山国有林 4 0 2 林班地先から海まで

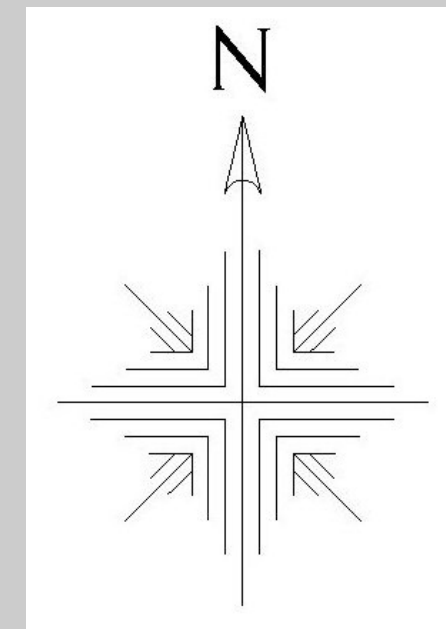
(4) 算出の前提となる降雨 年超過確率 1 / 10（荒川流域の 24 時間の総雨量 248mm）

(5) 河道条件：[現況]

(6) 関係市町村 村上市、胎内市、関川村

(7) その他計算条件等（計算メッシュ、地盤高メッシュ等について必要に応じて記述）
ア）氾濫計算は、対象区域を 25m メッシュ（計算メッシュという）に分割して、これを 1 単位として計算しています。
イ）計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
ウ）連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。



国土交通省北陸地方整備局羽越河川国道事務所

